



## ご挨拶

京都大学技術士会 会長  
京都大学名誉教授  
(前理事・副学長)



大西 有三

このたび、京都大学技術士会では設立3年目を迎え、会報を発行することになりました。創刊号の巻頭の言葉として、一言ご挨拶申し上げます。

およそ4年前に、京都大学技術士会の立ち上げが卒業生有志によって発案され、いまや会員数が500名を超える大きな組織に発展しました。さらに本会は、京都大学の同窓会としても正式に登録され、最大規模になっています。会員の皆様のご理解とご協力、ならびにボランティアとして積極的に活動いただいている当会の役員・幹事のご努力に対して、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

「技術士」は、我が国においては工学系で最高水準の国家資格であることは周知の事実ですが、京都大学が技術士を輩出するトップクラスの大学であることはあまり知られていません。このような背景から、京大技術士会への勧誘に力を入れています。できるだけ多くの技術士資格をお持ちの卒業生に当会へ参加していただくことで、京都大学をバックボーンとする発言力のある強力な技術者集団が形成できるのではないかと考えています。

当会はまた、単なる技術士の集団に止まることなく、分野の異なる講師を招いて講演会等の技術研鑽の機会を設けたり、技術士取得を目指す卒業生や在校生に対する支援活動として説明会を開催し、自由闊達な意見交換や議論ができる雰囲気作りにも努めています。

最後になりますが、会員の皆様の周辺に京大の卒業生技術士がおられましたら、ぜひお声掛けをお願いいたします。さらに、当会へのご意見やご提案など、事務局までお寄せいただければ幸いです。今後とも、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 会報創刊にあたっての期待

京都大学技術士会 副会長  
京都大学工学研究科長



伊藤 紳三郎

京都大学技術士会は、技術士資格をもつ本学卒業(修了)生および教職員約200名を会員として平成25年4月に設立されましたが、それ以来、役員ならびに事務局の皆様の献身的な活動のお蔭により、会員数も着実に増加し、順調に発展してきました。このような多数の会員を繋ぐツールの一つとして「京都大学技術士会会報」が創刊されることは喜ばしい限りであり、心よりお祝い申し上げます。

その具体的な活動として、技術士の広報、新たな資

格の取得者の育成・支援、会員相互の研鑽、交流、という重要なミッションを担っておられます。これらの活動により、工学部の学生の目を社会に向け、学生自らが将来への志をより大きく抱くことに貢献していただきます。さらに今後、急速に進むであろう大学の国際化においても重要な役割を担うことになるでしょう。工学部長の立場からも、京都大学技術士会が学科、専攻等の枠を越え、今後とも益々発展されますよう祈念いたします。

## これからの京都大学技術士会

京都大学技術士会  
副会長  
兼 代表幹事



武藤 光

京都大学技術士会の記念すべき会報創刊号の発行にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

本会は、設立から本年度で3年目を迎えることができました。これもひとえに、会員の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝申し上げる次第です。この間、5回の講演会、4回の「技術士を目指そう」説明会、2回の大会・特別講演会を開催し、好評をいただいております。

このような諸行事を企画・立案・実施するのは、当会の幹事会が担当しています。幹事数は総勢30名を数え、シニア幹事が若手幹事をサポートしながら積極的な会の運営を行っています。今後は、関東地区と関西地区の拠点を確立し、会員サービスの向上を図るために、それぞれの拠点で総務班・企画班・広報班に分けたきめ細かな活動を推進していく予定です。

一方、会員の皆様からのご要望が寄せられている当会ホームページの開設ですが、現在導入の計画段階に入っています。何とか今年度中には実現させて、会員の交流の場としてご活用いただきたいと思います。

会員数は500名を超えて微増中ですが、当面1000名を目標にしています。会員の皆様にも、積極的なご勧誘をお願いしなければなりません。

これからも諸行事の拡充を図りながら、「京都大学」の「技術士会」だからこそできる活動を通じて、会員と大学役員・教職員・在学生・卒業生のお役に立てる団体を目指してまいります。今後とも、皆様の力強い一層のご支援をお願いいたします。

## 創刊にあたって

京都大学技術士会 参与

林 克己



2013年3月の京都大学技術士会設立から2年間副会長兼代表幹事を務めさせていただきました。この間、大西会長をはじめ、北野前副会長、伊藤副会長、大津先生、神田先生など京都大学からの絶大な期待とお力添え、川嶋前副会長とすべての幹事の皆様の知恵と頑張りで会としての形ができてきました。

今年4月からは幹事会も新体制となり若手の幹事の皆様を中心となって会の運営を担っていただいております。講演会の数など行事も増え、幹事会の議論もさらに活発となりブースターが一挙に点いた感があり頼もしい限りです。

肩の荷が下りましたので今まで気になっていた会報発刊に手を挙げさせていただきました。会報は会員の皆様への定期報告としたいと思います。会員の皆様からの期待と叱咤の声で改善していきますので、今後ともよろしく願いいたします。





## これまでの活動の概要

### 1. 技術士資格の取得支援

- ① 2014. 3. 1 第1回「技術士を目指そう」説明会(日本技術士会会議室)
- ② 2014. 4. 11 第2回「技術士を目指そう」説明会(京都大学桂ホール)
- ③ 2015. 2. 21 第3回「技術士を目指そう」説明会(日本技術士会会議室)
- ④ 2015. 4. 10 第4回「技術士を目指そう」説明会(京都大学桂ホール)
- ⑤ 2015. 11. 7 (予定) 第5回「技術士を目指そう」説明会(京都大学百周年時計台記念館)

### 2. 継続研鑽のための講演会等の運営

- ① 2013. 11. 2 設立記念大会特別講演(京都大学百周年時計台記念館)
- ② 2014. 2. 22 第1回講演会(京都大学東京オフィス)
- ③ 2014. 9. 6 第2回大会特別講演(京都大学東京オフィス)
- ④ 2014. 11. 1 第2回講演会(京都大学百周年時計台記念館)
- ⑤ 2015. 2. 4 第3回講演会(イブニングセミナー 東京)(京都大学東京オフィス)
- ⑥ 2015. 4. 22 第4回講演会(イブニングセミナー 東京)(京都大学東京オフィス)
- ⑦ 2015. 9. 2 第5回講演会(イブニングセミナー 東京)(京都大学東京オフィス)
- ⑧ 2015. 11. 7 (予定) 第3回大会特別講演(京都大学百周年時計台記念館)

### 3. 設立準備会、大会

- ① 2013. 3. 30 設立準備会(京都大学東京オフィス)
- ② 2013. 11. 2 設立記念大会(京都大学百周年時計台記念館)
- ③ 2014. 9. 6 第2回大会(京都大学東京オフィス)

- ④ 2015. 11. 7 (予定) 第3回大会(京都大学百周年時計台記念館)

### 4. 役員総会

- ① 2013. 11. 2 第1回役員総会(京都大学楽友会館)
- ② 2014. 9. 6 第2回役員総会(京都大学東京オフィス)
- ③ 2015. 2. 26 第3回役員総会(安藤・間本社)
- ④ 2015. 11. 7 (予定) 第4回役員総会(京都大学楽友会館)

### 5. 幹事会

- ① 2013. 5. 10 第1回幹事会
- ② 2013. 7. 13 第2回幹事会
- ③ 2013. 9. 13 第3回幹事会
- ④ 2013. 9. 3 設立記念大会担当者会合
- ⑤ 2013. 10. 16 第4回幹事会
- ⑥ 2013. 12. 13 第5回幹事会
- ⑦ 2014. 2. 22 第6回幹事会
- ⑧ 2014. 4. 24 第7回幹事会
- ⑨ 2014. 6. 19 第8回幹事会
- ⑩ 2014. 7. 6 第2回大会担当者会合
- ⑪ 2014. 8. 30-31 中長期計画検討会
- ⑫ 2014. 10. 4 第9回幹事会
- ⑬ 2014. 11. 28 第10回幹事会
- ⑭ 2015. 1. 31 第3回講演会担当者会合
- ⑮ 2015. 2. 21 第11回幹事会
- ⑯ 2015. 4. 18 第4回講演会担当者会合
- ⑰ 2015. 4. 22 第12回幹事会
- ⑱ 2015. 6. 29 第13回幹事会
- ⑲ 2015. 8. 1 第5回講演会担当者会合
- ⑳ 2015. 9. 26 第14回幹事会

### 6. 広報活動

- ① 京都大学同窓会の京都大学技術士会のページに開催通知と実施報告を掲載

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/about/compete/domestic/024.html>

②京都大学技術士会 会報

2015.10.1 創刊号 発行

## 7. 京都大学が行なう事業への協力

同窓会情報の配布など

## 8. 他資格団体、他大学技術士会等との連携

大学技術士会連絡協議会、NTT 関係技術士の会

これらの活動について以降に簡単に紹介します。

# 「技術士を目指そう」説明会

毎年の技術士第二次試験の合格者数を卒業大学別にみますと、京都大学は例年上位を維持しています。しかし今のままで充分というわけではなさそうです。

京都大学では JABEE（日本工学教育認定機構）の認定コースは現在ありませんので技術士第一次試験は免除されません。卒業して社会人となってから技術士受験が必要だと気が付いてから全員が第一次試験から受けることになります。

在学中に技術士制度を知って第一次試験を受けておけば、時間のない社会人になってからの受験は不要となりますし、制度を知っておけば第二次試験も計画的に受験できます。

そこで、京都大学技術士会では「技術士になろう」説明会を学生・院生向け（工学研究科主催、当会共催）として桂キャンパスで、また社会人向け（当会主催）として東京や京都で開催しています。

第1回説明会は2014年3月1日に日本技術士会に関東地区に在住する京都大学の卒業生を中心に約30名が参加しました。卒業生技術士6名より資格取得のメリット、新試験制度と受験準備説明し、その後参加者が取得希望部門別のテーブルに分かれての部門別相談会を行いました。早速合格され、すでに当会に入会された方もみえ、うれしい限りです。



写真1 第1回説明会（上）と個別相談（下）

第2回説明会は2014年4月11日に工学研究科主催、京都大学技術士会共催で、桂キャンパスで行い学生・院生を中心に約70名が参加しました。技術士資格の重要性と制度の紹介、技術士試験の説明と資格取得の経験談、取得メリット、アドバイスが行われました。アンケートではほとんどの方が受験したいとのことでした。



写真2 第2回説明会

第3回説明会は主に関東地区の社会人向けとして2015年2月21日に、第4回説明会は学生・院生向けとして2015年4月10日に行いました。第5回説明会は主に関西地区の社会人向けとして2015年11月7日に行う予定です。説明会の参加費は無料としていますので近くの同窓生にもぜひ参加をお勧めいただけますと幸いです。

## 講演会の開催

技術士法第四十七条の二に「技術士は、常に、その業務に関して有する知識及び技能の水準を向上させ、その他その資質の向上を図るよう努めなければならない。」とされており、当会ではその継続研鑽の一環として講演会を開催しています。

講演会には、年1回行う大会時の特別講演会と通常の講演会があります。初期の講演会は土曜の午後に行っていましたが、最近では若手が参加しやすいように、水曜日の退勤後の時間に開催するイブニングセミナー形式が主となっています。

講師には京都大学出身で、その技術分野を俯瞰したお話とともに最先端のお話をいただける実績のある方をお願いしています。

講演会後の懇親会では講師の方にも参加いただき異なる業界・技術分野の会員の交流も楽しみの一つです。

2013年11月2日の設立記念大会での特別講演は、京都大学理事・副学長 淡路敏之教授による「ビッグデータを用いた Ocean View 解析空間と学際的利用」であり、会員を中心に90名の方が参加されました。



写真3 設立記念大会 特別講演会

2014年2月22日に京都大学東京オフィスで行われた第1回講演会は、一般社団法人 電力土木技術協会 会長 佐々木宜彦氏による「我が国における今後のエネルギー政策について」であり、会員を中心に約40名が参加されました。



写真4 第1回講演会

2014年9月6日に京都大学東京オフィスで開かれた第2回大会での特別講演は、日立製作所 技師長 平本和夫氏による「高エネルギー粒子線を用いるがん治療の普及状況と今後の展開」であり、会員を中心に約60名の方が参加されました。



写真5 第2回大会 特別講演会

2014年11月1日に京都大学百周年時計台記念館で行われた第2回講演会は、本会会長 前京都大学理事・副学長 大西有三名誉教授による「福島第一原子力発電所における汚染水処理対策の現状と課題」であり、会員を中心に約80名の方が参加されました。



写真6 第2回講演会

2015年2月4日に京都大学東京オフィスで開かれた第3回講演会からは夕方から始まる形式（イブニングセミナー東京）としました。またNTT 関係技術士の会と初めて共催し、NTTドコモ取締役常務執行役員 CTO 尾上誠蔵氏から「2020年へ向けた第5世代移動通信システムの開発」の講演をいただきました。両技術士会の会員を中心に約60名の方が参加されました。



写真7 第3回講演会

2015年4月22日に京都大学東京オフィスで行われた第4回講演会は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)地球観測研究センター 上席研究員 島田政信氏による「合成開口レーダ(SAR)による地球環境計測」であり、会員を中心に約40名の方が参加されました。



写真8 第4回講演会

2015年9月2日に京都大学東京オフィスで行われた第5回講演会は、一般財団法人 国土技術研究センター 国土政策研究所長 大石久和氏による「インフラ整備をめぐる誤解・曲解・無理解」であり、会員を中心に約90名の方が参加されました。



写真9 第5回講演会

なお、講演会で記入いただいたアンケートは次回以降の企画におおいに参考とさせていただきます。講演後の短い時間で申し訳ありませんが参加された方は是非記入をお願いいたします。

## 大会の開催

実は会の設立が決まったのは大会ではなく設立準備会でした。これは全国から会員を募るためには、最初に京都大学同窓会に入って会の存在を周知していただくことが必須だったからです。同窓会に入るためには会の実体が必要です。そこで2013年3月30日に京都大学東京オフィスで大西会長が設立準備会を開催し、主な役員幹事候補に集まっていただき会則や運営体制を決めて設立しました。その後、早速同窓会に申請をしました。そこからやっと同窓会を通じ本格的に会員募集を始めることができました。



写真10 設立準備会

2013年11月2日に設立記念大会が京都大学百周年時計台記念館で行われ、約90名が参加されました。

大西会長の挨拶に続き、来賓としてご出席いただいた文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課の松尾泰樹 課長と、公益社団法人 日本技術士会の西村文夫 常務理事からご祝辞をいただきました。

次に、他大学の技術士会などからの祝電披露と協賛企業の紹介に続き、京都大学技術士会の設立趣旨・意義や今後の活動計画などの説明がありました。設立記念大会後、隣接会場に席を移し、懇親会が催されました。工・農・理にまたがる多分野の専門技術者がさまざまな意見を交換しあうという他の同窓会にない長所も享受でき、相互の親睦が深まった有意義な場となりました。



写真1 1 設立記念大会(上)および第2回大会(下)

2014年9月6日に第2回大会が京都大学東京オフィスで開かれ、60人が参加されました。

大西有三会長の挨拶に続き、京都大学技術士会の2013年度の事業報告・決算報告と2014年度の事業計画・予算計画などの説明がありました。大会後、同じ品川インターシティビル内の会場に席を移し、懇親会が催されました。40～80歳台という幅広い年齢層の多分野の専門技術者の集まりという他の同窓会にない長所を生かし、有意義な意見交換の場となりました。

大会は年一回、京都と東京で交互に行っています。大会は1年間の活動報告と今後の活動計画、会計報告、運営体制の紹介などを、会員の皆様に直接説明させていただく機会です。いただいたご意見は今後の運営にも反映させていただきます。また大会に続いて特別講演会と懇親会を行っています。

特に京都で行う年は全学行事であるホームカミングディの日に合わせて行っています。晩秋の京都とホームカミングディ行事も満喫できますので、ぜひご参加いただけますよう。



## 役員総会・幹事会の開催

京都大学会則では、年に1回以上役員総会を開催し、会の重要事項（事業報告・決算と事業計画・予算の承認、運営体制や会則変更など）を決定することとなっています。役員総会は会長が役員および幹事全員を招集して開かれます。大会ではその結果の報告を行なっています。

そのため、役員総会は原則として大会の開催日に合わせて行っています。これとは別に、2年に一度は年度末に役員幹事の任期が満了し交代もありますので、年度末に役員総会を追加で行うことになります。

役員総会で決まった事業計画にそって運営をきりもりするのが幹事会です。幹事会は代表幹事が幹事を招集して開かれます。

幹事会は原則として2か月ごとに行い、講演会・大会・他団体との共催イベント、会員の入会、広報など運営全体を議論・決定します。この他、イベント前に代表幹事または副代表幹事が担当幹事のみを招集して詳細を検討することもあります。

なお、通常の役員総会や幹事会では時間が限られているため、中長期計画を議論するときなどは会長以下全員泊まり込みで2日連続で議論することもあります。



写真12 中長期計画検討会 (2014.8.30-31)

## 広報活動

京都大学技術士会のウェブサイトを早く開設したいのですが、現在の幹事会のパワーおよび資金不足によりかなり遅れています。

現在は、京都大学同窓会のウェブサイトには京都大学技術士会のページ（以下 URL）があり、そこに行事開催案内と実施報告を掲載いただいています。

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/about/compete/domestic/024.html>

独自のウェブサイトが開設できれば、行事情報以外にも幹事会の報告や講演資料などの掲載が可能ですので、何とか開設にこぎつけたいと考えています。

ウェブサイト開設と運営をボランティアで手伝ってあげるよという会員の方、事務局にご連絡くださいませんか？

会報につきましてはやっと発刊できました。さしあたり年2回発行できるようにしたいと思います。



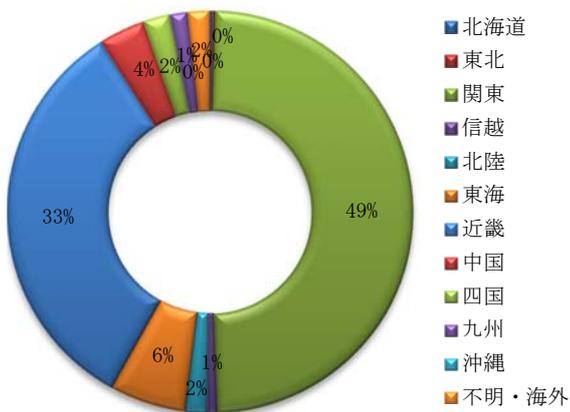
## 会員状況

### 1. 会員数

2015年10月1日時点での会員数は534名です。  
会長目標の1000人になかなか届きません。

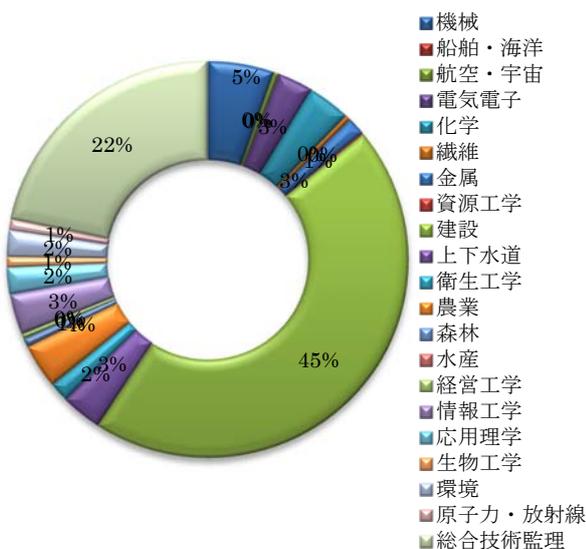
### 2. 会員の地域分布

関東が49%、近畿が33%となっています。



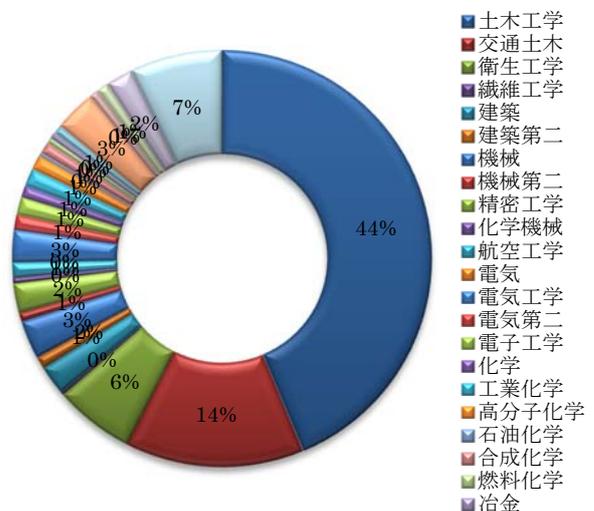
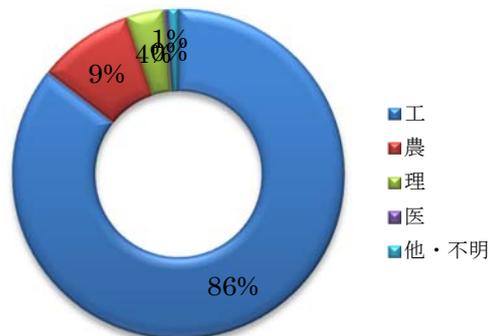
### 3. 登録技術部門の割合

建設が45%、機械が5%、農業が4%、化学、電気電子、情報工学と上下水道が3%です。他の20部門に加えて取得される総合技術監理は22%です。



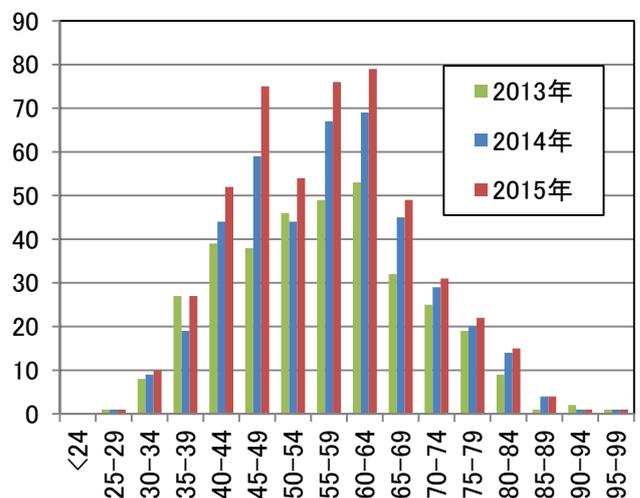
### 4. 卒業学部・学科の割合

工学部が86%、農学部が9%、理学部が4%です。  
なお、工学部内では土木系が半分を占めています。



### 3. 年齢分布

会員データの大学卒業年から類推した年齢分布を示します。この2年に入会された方は45~49才が一番多かったようです。



## 大学技術士会の状況

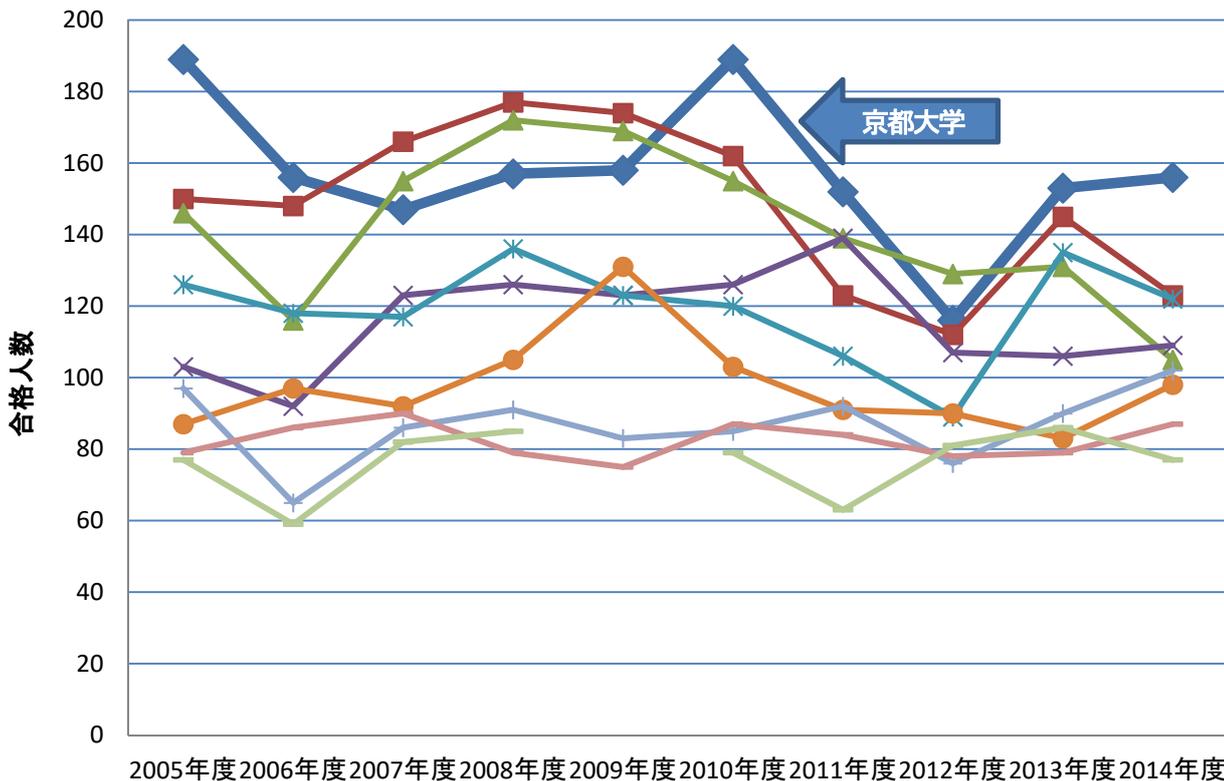
現在 28 の大学技術士会が日本技術士会に設立を連絡しています。京都大学技術士会は2013年3月設立とかなり若いのですが、その後も4つの大学技術士会が設立されています。

毎年の技術士第二次試験の卒業大学別の合格者数の推移を下図に示します。近年は全体で毎年3,000人程度が合格していますがその中で京都大学卒業生は毎年150人程度が合格していますので、全体の約5%となります。これから推定すると、現在の技術士登録者数は約85,000人ですので、京都大学卒業の技術士は4,000人以上かもしれません。

同窓会などを通じて京都大学技術士会への会員登録を呼びかけていますが、ご本人からの連絡がない限り連絡先がわかりませんので、まだ会員は534人とどまっています。

- 東京工業大学 (蔵前技術士会)
- 日本大学 (桜門技術士会)
- 東京都市大学 (柏門技術士会)
- 東京理科大学 (理窓技術士会)
- 中央大学 (中大技術士会)
- 千葉工業大学 (千葉工業大学技術士会)
- 早稲田大学 (早稲田大学技術士稲門会)
- 工学院大学 (工学院大学技術士会)
- 東北大学 (技術士青葉会)
- 大阪工業大学 (大阪工業大学学園技術士会)
- 摂南大学 (摂南大学技術士会)
- 名城大学 (名城大学技術士会)
- 芝浦工業大学 (芝浦技術士会)
- 慶応義塾大学 (慶應技術士会)
- 立命館大学 (立命館大学技術士会)
- 北海学園大学 (北翔会)
- 室蘭工業大学 (水元技術士会)
- 九州工業大学 (九州工業大学技術士会)
- 東北工業大学 (工大土木技術士会)
- 東北学院大学 (しびる技術士会)
- 名古屋工業大学 (こきそ技術士会)
- 大阪大学 (大阪銀杏技術士会)
- 東京電機大学 (東京電機大学技術士会)
- 京都大学 (京都大学技術士会)
- 電気通信大学 (電気通信大学技術士会)
- 近畿大学 (近畿大学技術士会)
- 大阪産業大学 (大阪産業大学技術士会)
- 中部大学 (中部大学技術士会)

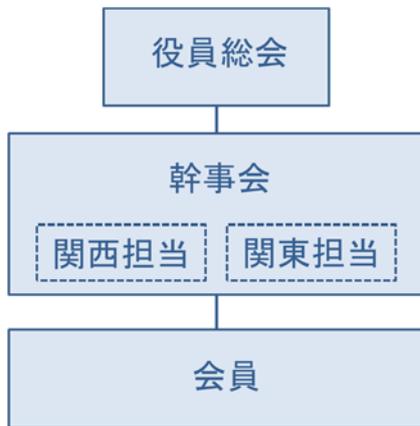
卒業大学別合格者数の推移(上位9大学)



## 運営体制の紹介

「役員総会・幹事会の開催」の項にありますように、京都大学技術士会の運営体制は下図のようになっています。

表1と表2は2015年度の役員と幹事メンバーです。大学は●、関西は●で示します。その他は関東です。任期は2015年4月から2年間です。どうぞよろしくお願いいたします。



●: 大学  
●: 関西

表1 2015年度役員

会長	大西 有三 ● (前副学長)	会務総理
副会長	伊藤 紳三郎 ● (工学研究科長)	大学総括
副会長	武藤 光	会務執行総括
副会長	綾木 光弘 ●	関西総括
参与	高宮 脩武	
参与	林 克己	
監事	武山 正人 ●	

表2 2015年度幹事

代表幹事	会務執行総括	武藤 光	
副代表幹事	大学総括	大津 宏康 ● (副工学研究科長)	
副代表幹事	関西総括	綾木 光弘 ●	
副代表幹事	関東総括	佐竹 孝	
幹事	山崎 洋右 ●	幹事	下村 泰造
幹事	田岡 直規 ●	幹事	狩野 陽 ●
幹事	小島 亨司	幹事	有野 剛史 ●
幹事	嶋田 弘僧	幹事	仲矢 順子 ●
幹事	安藤 秀樹	幹事	福本 育央 ●
幹事	白川 正広	幹事	岡田 浩樹 ●
幹事	乾 貴誌	幹事	横尾 敦
幹事	大坪 利行	幹事	新原 雄二
幹事	徳川 和彦	幹事	栗本 卓
幹事	上田 泰史 ●	幹事	中山 かおり
幹事	千田 琢 ●	幹事	神田 佑亮 ●
幹事	久保田 正博 ●	幹事	龍原 毅
幹事	辻井 修	幹事	松井 理恵
幹事	以後 有希夫	幹事	湯浅 岳史
幹事	中谷 武彦		



## 役員・幹事の紹介



### 幹事の一人として



副会長  
兼 副代表幹事（関西総括）  
綾木 光弘

今回、京都大学技術士会発足から2年余り経った時点での、創刊号の発刊はまことに喜ばしい限りです。というのも、この2年で、京都大学技術士会会員が500名を突破し、日本で最大の大学技術士会の組織となったからです。

このように、最大組織となったことは、その幹事の一員として、感無量のことであることはもちろんのことです。ただ、ここで、設立の本来の趣旨をもう一度思い起こす必要があると感じております。

設立趣旨からして、会員間の親睦を図ることはもちろんであります。そして、それ以上に大事なことは、京都大学の現学生、卒業生、教職員等に、役立ち親しまれる技術士会活動を目指すことです。この目的に沿って、今後幹事の一員として、活動を加速していこうと考えております。

（昭53農修、森林／総合技術監理部門、  
綾木企画技術士事務所）



### 群れる京大生？



副代表幹事（関東総括）  
佐竹 孝

京大はどちらかというと“群れること”を嫌う気風ですが、当会は技術士の名の元、業

種・組織・役職といった枠組みを超えた交流の場を提供していくことを1つの目的としております。

私は縁あって、幹事として当会に参加させていただいておりますが、行事の参加・運営を通じて、自分の会社に関心しては出会うことができない異分野の会員・幹事の方々との交流で、刺激を受けたり、勉強させていただいたりしております。

今後も、当会の輪を広げ、同窓会、そして卒業生技術者を盛り上げていきたいと思っております。そして延いては、技術士の知名度向上に貢献できればと考えております。

（平4工修、電気電子／経営工学部門、NTT）



### 業務と技術士および趣味



幹事（関西）  
上田 泰史

私はダイキン工業株式会社に昭和58年入社以来、機械技術研究所、本社地球環境室を経て現在、グローバル調達本部に勤務しております。この間、国連環境計画（UNEP-IETC）の支援財団法人地球環境センターに出向しました。その頃から環境分野に興味をもち、環境工学の博士号や環境部門の技術士資格を取得しました。

京都大学技術士会2013年第1回大会より関西幹事として参加し、春の大学での技術士一次試験説明会司会等のお手伝いをしております。

日本技術士会近畿本部環境研究会の幹事も務めており、研究会行事を通じて、本学出身の技術士の方々へ本会の紹介を行い、会員増加活動も行っております。

趣味はマンドリンオーケストラでマンドラという楽器を奏でることで、来年9月の京大マンドリンオーケストラ創部55周年記念演奏会に向けて有志で練習を重ねております。

（昭58農修、環境／総合技術監理部門、  
博士（工学）・ダイキン工業）



## 楽しみな異分野交流



幹事（関西）  
仲矢 順子

関西で幹事を仰せつかっております仲矢順子です。

普段は京都技術士会に参加し、毎年夏には京都技術士会の子ども理科実験教室で講師などしております。

大学を出てからは、地質調査会社、建設コンサルタント会社を経て個人事業者として地盤技術関連の仕事に携わってきましたが、5年ほど前から中小建設関連業者の技術営業支援などの仕事が増えてきました。またそのような仕事で知り合った建設会社が林業に新規参入したのに乗じて、学生時代に学んだはずの林業技術を勉強し直しながら山林の経営計画などに携わっています。

技術士という資格を軸にいろんな分野の皆さんのお話を伺うことを楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。

（平6農修、建設/森林部門、ともえ地盤情報室）



## 関東地区総務担当 辻井です



幹事（関東）  
辻井 修

京都大学技術士会において関東地区の総務、会計を担当しております辻井修と申します。

建設会社に勤務しており、現在は官庁土木の営業を担当しております。入社以来、現場での監督業務、本社での設計、経営企画に携わってきました。

二人の息子（中学1年生と小学2年生）が部活動等でバスケットボールをしています。私も、小学校から中学校にかけて、バスケットボールをしていたので、息子達とのバスケットボールの練習や観戦が最近の趣味です。

京都大学技術士会での活動を通じて、多くの異業種の方々と交流し、知見を広めていきたいと思っております。

（平8工、建設部門、榎安藤・間）



## 京大技術士会の活動を通じて



幹事（関西）  
田岡 直規

京都の吉田の地（左京区吉田神楽岡町）に在住し17年間、毎日、京都大学を眺め、学生時代の思い出に浸りながら通勤しております。今では、学生時代には縁がなかった技術士としての活動も、少しずつ広がってきました。

現在、日本技術士会近畿本部では、本部幹事、会員拡大委員会委員長、機械システム部会副部会長を仰せつかり、技術士会活動は私のライフワークの中の重要な位置づけとなっております。

今後は、京大技術士会、及び日本技術士会の活動を通じて、それぞれの会員拡大、会員相互の交流と親睦、資質向上と地位向上に貢献したいと考えております。

また、京都大学はじめ大学での技術者倫理教育を通じて、技術者の倫理観の向上にも寄与したいと考えております。

（昭56工、機械/総合技術監理部門、大阪ガス）



## 大阪生れ→京都→東南アジア→湘南暮らし

幹事（関東）  
中谷 武彦

入社後は、国内外のシールド工事や海外での現場管理に従事してきました。アクアラインの海底トンネル、シンガポールと台湾の地下鉄工事、有珠山噴火後の災害復旧工事など。

海外では、ローカル生活を楽しむべく語学の習得にも取り組みました（英語、中国語、タイ語など）。今は国内勤務に戻って5年目です。既にそれらの言葉の多くは頭から抜けてしまっていますが、苦しかった仕事の思い出、楽しかった海外生活は今でも鮮明に記憶に残っています。子供たちも、台湾では中国語で兄弟喧嘩するほどでしたが、今ではその面影は全くありません。

最近国内景気が上向き、仕事量が忙しくなった傍らにも、休日は子供たちと湘南生活を満喫しています。

（平3工、平5環境地球修、建設／総合技術監理部門、清水建設(株)）

広く「技術」というものを考えた際に、非常に局所的な分野の知識しか持ち合わせておらず、技術者としてはまだまだ未熟者であると痛感しております。このような私にとって、同窓ならではの連帯感に包まれた大学技術士会は、自らの視野を広げる絶好の機会ととらえております。

（平2工、建設部門、パシフィックコンサルタンツ(株)）



## 視野を広げる大学技術士会

幹事（関東）  
以後 有希夫

卒業後、建設会社に約20年勤務し、コンクリート橋梁および構造物の設計と施工を経験し、建設コンサルタント会社に転職して約5年勤務し、主に橋梁の設計をしてまいりました。専門分野は「コンクリート橋梁<橋梁<構造物<交通インフラストラクチャー」となりますが、

## 会員紹介



### 技術士資格取得への道



坂井 剛太郎

昭和57年建築学科を卒業して竹中工務店に入社。一級建築士、一級建築施工管理技士の資格を早々に取得し、入社5年目から7年の海外赴任を終えて帰国した後、矢継ぎ早にマネジメント・経営分野の勉強を始めて、それでも技術者としてのプライドを捨て切れず、「技術士」を目指しました。我流で建設部門に挑戦すること数回、セミナーでのアドバイスを受けて、受験部門を経営工学部門へ変更したことが功を奏し、2006年に同部門と総合技術監理部門に併願で合格、その後あらためて2012年に建設部門（建設環境）に合格しました。

近畿本部経営工学部会に属していますが、単身赴任中の東京では統括本部経営工学部会幹事、国際委員会委員として活動しています。現在、竹中土木に出向して海外事業を担当しています。



### 私の略歴とご挨拶



丹生 光雄

私は、昭和41年理学部卒、昭和45年理学研究科博士課程から住友化学株式会社に入社し、その後定年まで勤務した後、技術士事務所を開設し現在に至っています。専攻は、地

質学鉱物学（学科）で地質学やX線による鉱物の結晶格子解析などを行っていました。

住友化学では、無機化学分野の研究開発を行う一方で、鉱物資源（特にアルミニウムの鉱石であるボーキサイト鉱）開発要員として、オーストラリア、インドネシア、南太平洋島嶼等へ資源調査に赴きました。当時、わが国のアルミニウム産業は極めて盛んな時代で次々に製錬工場が国内に建設される有様でした。しかし、その後、所謂オイルショックによりわが国のアルミニウム製錬業は衰退し、私も化学分野の開発業務に専念しました。

定年退職後は、技術士事務所として、技術士育成業務、裁判所の調停委員、ISO14001審査員、その他技術コンサルタントとして活動してきました。日本技術士会、大阪技術振興協会、京都技術士会等に所属しています。趣味は、旅行、テニス、音楽、クラシックギターなどです。今後とも宜しくお願い致します。



### 環境部門の技術士として



山田 真理子

1994年に農学部を卒業し、2002年から環境の仕事をしています。専門能力を高めたいと技術士を目指し2011年に合格しました。現在、富士通 環境本部に勤務し、製品の環境配慮を推進する業務に携わっています。お客様・社会に貢献し、弊社ビジネスと同軸の環境方針を形作る仕事です。幅広い分野に視野を広げることが欠かせず、そのためにも京大の技術士会講演会に参加させて頂いています。

プライベートではワーキングママ歴6年半になりました。今年は「小1の壁」に直面していますが、家族や上司・同僚、友人達から多数のサポートを頂き何とか働いています。慌ただしい毎日の中、生き物好きの娘と動物園や水族館に出かけるのが楽しみとなっています。



## 自己紹介



川田 恒康

鳥取県智頭町出身、1950年（昭和25年）生れ。京都大学農学部農薬化学講座にて、構造活性相関と有機合成を学びました。修士課程修了後、多角化を目指す繊維会社の医薬品事業部門で文献情報検索業務に携わり、1986年（36歳）、図書資料管理システム構築により技術士（情報工学部門）を取得しました。

現在、京都大学iCeMSおよび滋賀医科大学（産学連携）に勤務しています。

家庭では「婦唱夫随」を貫いて家庭平和を心がけ、毎朝の通勤で家から地下鉄最寄り駅まで15分、愚妻と愛を語りながら歩いています。ハイキングが好きで地形図も好きです。また、オーケストラのスコア（総譜）をみながら管弦楽のCDを聞いたり、冗談音楽を考えたりしています。



## 南半球の地にて



桑嶋 健

桑嶋健(H1 土木工学科卒, H3 大学院工学研究科修了)です。鉄鋼メーカーに勤務、主に土木建材製品(鋼矢板、鋼管杭)のエンジニアリングサービスを担当しています。

2年ほど前からシドニーに駐在、オセアニア地区の市場開拓を任されています。当該業務でのオースト

リア駐在は小職が初でして、先駆者としての足跡を残すべく、日々精進を重ねております。オーストラリアは我が国の鉄鋼業にとり、鉄の主要原材料である鉄鉱石、石炭の多くを輸入している欠かせない大切な国でもあり、日本の鉄鋼製品が日豪関係の更なる発展に少しでも貢献できればと思っています。

技術士(建設-土質及び基礎)の資格取得は2006年です。以来、技術士会の方にはCPD講座で大変お世話になっております。今後とも宜しくお願い致します。



## 技術士試験の活用



橋本 隆

東大入試が中止になった昭和44年に工学部合成化学科に入学しました。半年間、正規の授業がありませんでしたが、京都出身の私は、大学や全国から集まった仲間の下宿などで議論し、時にはデモに参加し、日常とは違う思い出深い学生生活を送りました。

卒業後は大阪市に奉職し、37年間、下水道や環境行政に従事しました。定年退職を控えた平成18年に上下水道部門2次試験に合格しましたが、既に57歳になっており、技術士資格は難しいだけに、できるだけ頭が柔軟な若いときに挑戦した方がいいと思っています。在学されている皆さんも、大学における勉学の成果を客観的に測る物差しとして、技術士試験を活用されてはいかがでしょうか。





## 技術士取得とサポートの重要性



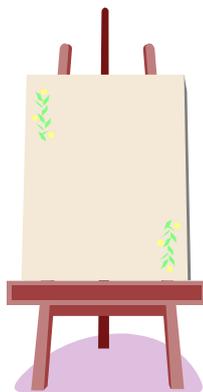
白土 浩司

私は2005年工学部物理工学科卒業で、現在、三菱電機で産業用ロボットの知能化に関して研究しております。

私は学部生時代の講義で技術士の存在を知りました。講師のアドバイスで一次試験は学生時代に受験済みでした。

2014年、京大機械系同窓会のメーリングリストで京都大学技術士会 主催の説明会の存在を知り、まずは話を聞きに行ってみようと思ったのが二次試験受験のきっかけです。説明会では、取得意義など先輩方の様々なアドバイスを受けることができ、取得を決意しました。社内の技術士会にも手厚くサポートいただき、見事合格することができました。

サポートいただいた皆様感謝しつつ、プロフェッショナルとして仕事を進めて参ります。



## 会員の皆様へのお願い

京都大学技術士会は、入会金や年会費はなく、行事毎の必要費用を参加費として負担いただいています。そこで次のお願いがあります。

### 1. メールアドレス変更の場合は必ず連絡下さい

当会では郵送費や会誌印刷費の予算はありませんので、メールアドレスを持っていることが会員の条件の一つとなっています。メールアドレスを変える場合は必ず事務局にご連絡をお願いいたします。

### 2. 京大卒の技術士さんに会員登録をお勧め下さい

京大卒の技術士さんをご存じなら、ぜひ入会をお勧めくださるようお願いいたします。会員が多ければ、会のプレゼンスが向上します。また活動項目も増やせます。行事参加者が増えますので、参加費を下げることも可能となります。

### 3. 入会方法

事務局アドレスに「入会希望」をご連絡下さい。後程事務局より、入会にあたり必要な情報をお送りいたします。

**京都大学技術士会 事務局アドレス**

[kyoto-u.pe@titan.ocn.ne.jp](mailto:kyoto-u.pe@titan.ocn.ne.jp)

### 4. 講演会などの行事にも参加をお勧めください

現在のところ、会員以外の方も講演会に参加できるようにしています。同僚の方や同窓の方などに、開催通知を転送していただければ幸いです。

### 5. ご提案、ご意見お待ちしております

「こんなイベントをやってほしい」などのご提案や、改善すべき点などのご意見は、是非事務局アドレスまでお送りください。



付録

# 京都大学技術士会 会則

平成 25 年 3 月 30 日制定(設立準備会)  
平成 26 年 9 月 6 日改正(第 2 回役員総会)

## 名 称

### 【第 1 条】

本会は、京都大学技術士会と称する。

## 目 的

### 【第 2 条】

本会は、会員相互の交流と親睦を図り、併せて、京都大学の発展を期し、これらに貢献することを目的とする。

## 事 業

### 【第 3 条】

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 京都大学の学生、職員、卒業生に対する技術士資格の取得支援
- (2) 会員の継続研鑽のための講演会、研究会、見学会、交流会の運営
- (3) 京都大学が行なう事業への協力
- (4) 京都大学同窓会の他資格団体、他大学技術士会等との連携による公益事業
- (5) その他本会の目的に沿った事業

## 会 員

### 【第 4 条】

本会の会員は、次の各号に掲げる個人で、本会の趣旨に賛同するものとする。

- (1) 京都大学の学部、研究科等を卒業し、技術士法に規定された技術士(技術士登録前の第二次試験合格者を含む)
- (2) 京都大学の役員、教職員及びこれらの職にあつた者で、技術士法に規定された技術士(技術登録前の第二次試験合格者を含む)
- (3) その他会長が認めた者

## 役 員

### 【第 5 条】

1. 本会に、次の各号に掲げる役員を置く。
  - (1) 会長
  - (2) 副会長 若干名
  - (3) 代表幹事 1 名
  - (4) 副代表幹事 若干名
  - (5) 幹事 10 名以上
  - (6) 監事 若干名
2. 前項に定めるもののほか、必要に応じ、会長代行、参与、顧問、名誉会長その他の役員を置くことができる。

## 役員を選任

### 【第 6 条】

1. 会長は、京都大学理事または理事経験者をもって充てる。
2. 会長代行、副会長、参与、代表幹事、副代表幹事、幹事及び監事は、会員の中から会長が指名した者とする。

## 役員を任務

### 【第 7 条】

1. 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長は、会長および会長代りを補佐する。

3. 代表幹事は、会務の執行を総括し、事務局を統括する。
4. 副代表幹事は、代表幹事を補佐する。
5. 幹事は、事務局と連携し、本会の事業の企画・推進を行う。
6. 監事は、本会の業務の執行を監査し、役員総会に報告する。

## 任期

### 【第8条】

役員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

## 会議

### 【第9条】

本会の会議は、役員総会及び幹事会とする。

## 役員総会

### 【第10条】

1. 役員総会は、会長、副会長、代表幹事、副代表幹事及び幹事で組織する。
2. 役員総会は、本会の運営及び事業の実施に係る重要な事項を審議する。
3. 会長は、役員総会を毎年1回以上招集し、その議長となる。
4. 役員総会は、第1項に掲げる役員の過半数が出席(委任を含む)しなければ、議事を開き、議決することができない。
5. 役員総会の議事は、出席者(委任を含む)の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。
6. 役員総会は、メールによる会議でも行なうことができる。

## 幹事会

### 【第11条】

1. 幹事会は、代表幹事、副代表幹事及び幹事で組織する。
2. 幹事会は、次に掲げる事項を審議する。
  - (1) 会員の入会及び退会に関する事項
  - (2) 役員総会に提案する議事に関し必要な事項
  - (3) 本会の事業の企画、立案、実施等に関する事項
3. 代表幹事は、幹事会を招集し、その議長となる。
4. 幹事会は、幹事の過半数が出席(委任を含む)しなければ、議事を開き、議決することができない。
5. 幹事会の議事は、出席者(委任を含む)の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。
6. 幹事会は、メールによる会議でも行なうことができる。

## 事務局

### 【第12条】

本会に事務局を置く。

## 会則の改正

### 【第13条】

この会則は、役員総会において第10条第1項に定める役員の過半数の議決により改正することができる。



## 雑 則

### 【第 14 条】

この会則に定めるもののほか、本会の運営及び事業の実施等に関し必要な事項は、役員総会の議を経て、会長が定める。

## 附 則

---

### 附則1

この会則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

### 附則 2

この会則の改正は、平成 26 年 9 月 6 日の第 2 回役員総会で成立し、以後施行するものとする。  
(副代表幹事の追加(第 5 条、第 6 条、第 7 条、第 10 条、第 11 条))